

# 町長日誌 No.164



町長日誌の第164号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月15日(木) 10:00

今年の運動会は二週続けて悪天候のため、子供たちはとても寒い中、短縮日程で何とか行いう事が出来たと言うか「やりました」と表現した方が良い様な運動会であったようです。と、言いますのも私は出張のため小中すべての運動会を見ることが出来ませんでした。特に中学校は両校とも最後の運動会でしたので、とても残念でした。「何とか天気になれ！」と出張先で天気予報を見ながら祈っていたのですが、自然は思う様にはならないものです。今日も予報では一時雨ですが、気温が朝に比べて低くなったものの何とか晴れています。遅れていたホタテの稚貝放流もやっと16日に終了し、町長室の開けた窓からは牧草サイレージ収穫作業のハーベスターの音が聞こえてきます。牧草の生育が低温で遅れ気味ですが、7月上旬までは雨は一滴もいらぬのが酪農家やコントラクター作業に励む方たちの願いです。くれぐれも安全作業・安全運転をお願いします。

6月4日(日)

皆さんは「江東区」ってご存知でしょうか？ 東京23区の一つで特別自治区なのですが、一般的には築地市場の移転先である豊洲、深川、木場、もんじゃ焼きで有名な月島などのある地域で2020年の東京オリンピック競技会場も多い地域です。この江東区とオホーツク管内町村会が昨年から交流事業を進めることになりました。この事は高橋北海道知事と東京特別区長会会長とが一昨年交流事業を進めることで合意し、全道町村会でも取り組む事となり、オホーツク管内町村会としては単なる物産販売をメインにするのではなく、木材や環境などをテーマとした交流に出来ればと考え相手を探していたところ江東区さんが名乗りを上げてくれました。江東区の山崎区長さんは大変に木材にこだわりのある方で学校施設には必ず木材を使うということです。また、下町の雰囲気



が残っている地域で昼夜の人口差も少なく、日本一の森林認証の山林を有し、農水産物生産の豊かなオホーツク地域としてはとても魅力的なところです。

ホタテ漁の本格操業、一番牧草の収穫作業と活気のある時節になりました。7月には幼稚園・保育所の運動会が開催されます。良い天候を願うばかりです。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

江東区では、今年で10回目となる「環境フェア」と言うイベントを開催しています。このイベントは江東区が海に接している地域であることから、森や水の大切さを学び地球温暖化などの環境を考えることをテーマとしており、私たちが求めていたテーマとまさに一致したのです。町村会としてはこの環境フェアへも出展を交流の足掛かりとさせて頂き、15町村から職員1名ずつ研修を兼ねて派遣することにしました。昨年は町村長を代表して滝上・美幌の町長に参加してもらいましたが、今年は海をテーマとした出店と言うことで佐呂間町長と私に白羽の矢が



当日は大変に大勢の方がご来場になりましたが、北海道に実家がある、旅行に行ったことがある等と言う方が多数来て下さいました。なかでも西興部の三浦木材で働いていたと言うやや高齢の男性が来られて若い職員に話しても誰も三浦木材を知らない訳で、唯一知っている私は暫くそのおじさんの相手をする事になってしまいました。

さて、首都圏との交流は地方にとって経済や移住などとても重要な施策ですが、ややもすると美味しい海の幸山の幸を買ってもらっただけになりがちです。大切な事は私たちの住むオホーツクの地を知って理解してもらうことであり、この交流がその為の大きな一歩になればと考え興部町としても積極的に参加していきたいと思っています。

